

きょうどはくぶつかん
～郷土博物館
なつ
夏のぬい～



てんしょう ねん だ て まさむね
天正17年に伊達政宗が
かんしょう
鑑賞したのが
にほん はなび はじ
日本の花火の始まりと
いわれているよ。

めいじ ねん がつ
明治42年8月に
おおもりかいがん おこな
大森海岸で行われた
はなびきょうぎたいかい
花火競技大会では
とくがわよしのぶ むすこ よしひさ
徳川慶喜が息子の慶久と
はなび かんしょう
花火を鑑賞したと
つた
伝わっているんだよ。

